

趣 意 書

2025 年 12 月

一般社団法人 日本環境感染学会

臨床研究推進委員会委員長 三鴨廣繁

ご 挨 拶

謹啓

貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、日本環境感染学会の常置委員会である臨床研究推進委員会は産学共同で Evidence based Infection Prevention を実現すべく 2018 年 6 月に設立された組織であります。

このたび、本委員会では、「感染対策における DX 活用」に関して、産学共同研究を推進するために、本研究に賛同いただける企業の方々から広く寄付を募集します。なお、臨床研究推進委員会では、これまでも産学共同研究を推進してきており、現在研究実施中のものも含めて、これまでにこの形態で 3 件の実績がございます。

貴社におかれましては本調査の意義、趣旨をご理解頂き、本調査にかかる費用につきまして寄附にご賛同くださいますよう、お願い申し上げます。

謹白

一般社団法人日本環境感染学会
理事長 四柳 宏
同 臨床研究推進委員会
委員長 三嶋 廣繁
副委員長 國島 広之

産学共同研究
—寄付金募集要項—

産学共同研究への寄付金を、下記要綱にて募集いたします。

<背景>

医療関連感染（HAI）を防止するためには、感染対策（ICT）ラウンドを通じて現場の実態を的確に把握し、適切な改善策を迅速にフィードバックすることが不可欠です。

一方で、これらの業務には ICT による多大な労力が必要となっていると考えられます。近年、DX（デジタルトランスフォーメーション）技術の進展により、これらの業務効率化や質の向上が可能となりある。しかしながら、これらのシステムの有効性や現場適合性についてのエビデンスは十分ではありません。

<目的>

感染対策 DX 化システムの導入が、医療現場における感染管理業務の効率化と感染対策の質向上に及ぼす影響を定量的・定性的に明らかにし、多施設における導入効果や課題を検証する。

<対象>

- ・参加施設：国内の医療機関複数施設（規模・地域性等を考慮）
- ・参加者：核施設の感染対策担当者（看護師、医師）、医療スタッフ

<方法> 多施設共同研究

1. クロスオーバー試験による効果測定（システム導入前と導入後の比較）
2. アンケート調査により ICT の業務の負担感、満足度、医療スタッフの意識変化、今後の課題等を評価

<調査内容>

1. クロスオーバー試験による効果測定
 - ・関連業務時間、作業量の変化
 - ・院内感染発生率や発生件数などの推移
2. アンケート項目例
 - ・感染対策業務の実務負担感（作業時間、作業量）
 - ・システム導入前後の業務効率の自己評価
 - ・システム利用の利便性、課題
 - ・医療スタッフの感染対策に対する意識の変化
 - ・システム導入に必要な支援 など

<予定研究スケジュール>

フェーズ	期間	内容
事前準備・倫理審査申請等	3 ヶ月	研究デザイン確定・倫理審査申請
事前調査・ベースライン収集	3 ヶ月	導入前のデータ収集、アンケート調査
システム導入・研修	1 ヶ月	システム導入・操作研修等

導入後調査	6 ヶ月	システム運用後 6 か月間のデータ収集、アンケート調査
データ分析、評価	2 ヶ月	定量・定性データ解析
報告書作成、論文作成	3 ヶ月	報告書作成、論文作成等

< 寄付募集金額 >

1 件につき 1,000,000 円以上。

< 寄付募集期間 >

2025 年 12 月 5 日から 2025 年 12 月 25 日

< 申し込み方法 >

別紙「寄付金申し込み用紙」にご記入の上、事務局へ FAX 送付ください。

【お申し込み先・お問合せ先】

一般社団法人 日本環境感染学会事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 5-26-6 池田山パークヒルズ 202 号室

TEL : 03-6721-9131

FAX : 03-6721-9132

E-mail : jsipc@kankyokansen.org

申込期間：2025 年 12 月 25 日まで

返信先：メール jsipc@kankyokansen.org または FAX 03-6721-9132

一般社団法人 日本環境感染学会事務局 宛て

日本環境感染学会 臨床研究推進委員会
産学共同研究

寄付金申込書

一般社団法人 日本環境感染学会
理事長 四柳 宏 殿

日本環境感染学会 臨床研究推進委員会 産学共同研究に賛同し、下記の金額を寄付します。

寄付額 _____ 円

貴社名		
ご住所		
ご担当者	ご氏名	
	役職	
	TEL	
	FAX	
	E-mail	